



IXIL ワイドウィン用単体シャッター(単体枠) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

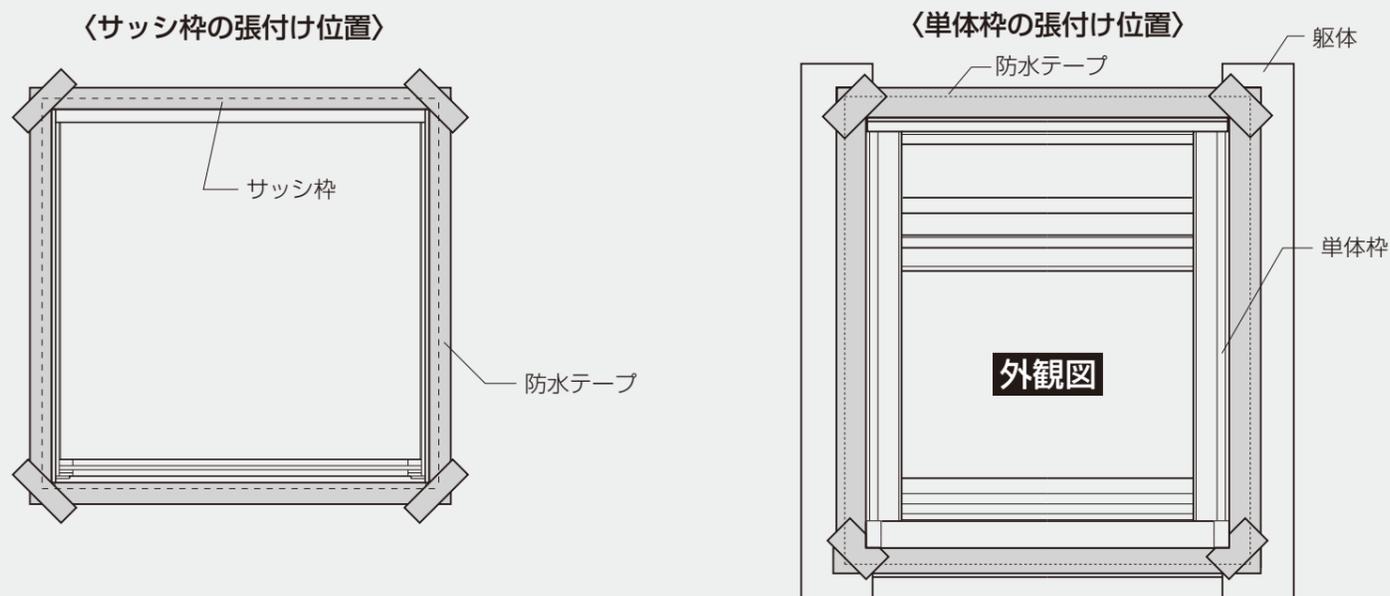
- 取付け前に必ず本説明書をお読みください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

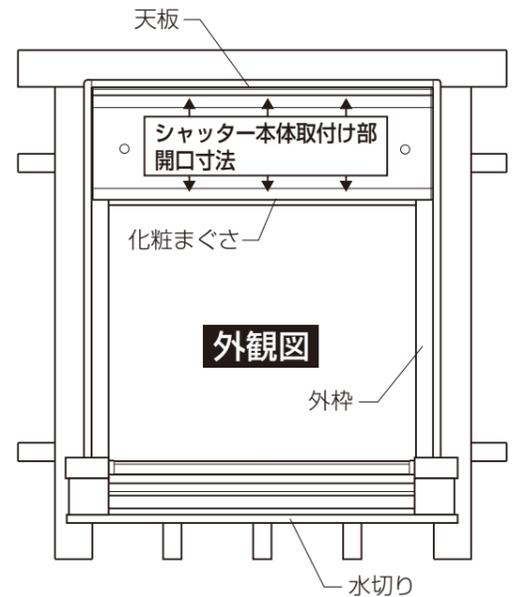
- シャッター本体の脱落や変形による作動不良・漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。
 - ・必ず指定のねじを指定の本数使用して取付けてください。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品を取付ける前に、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)が張ってあることを確認してください。
 - ・本製品取付け後、単体枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部および単体枠の角部が完全にかくれるように防水テープ(別売り)を張ってください。
 - ・躯体の下穴にコーキング材を充てんしてください。
 - ・外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさ・水切りの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
 - ・部材現場付けの場合、天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまい、漏水するおそれがあります。
 - ・背板の取付け時は、背板の四周(天板・外枠・化粧まぐさ)およびコーナー部に防水テープを張って、さらに圧着してください。
 - ・部材現場付けの場合、外枠と天板・化粧まぐさ・水切りをねじ止めするねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
 - ・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレール、水切りの水抜き穴を埋込まないでください。

〔防水テープ張付け位置〕



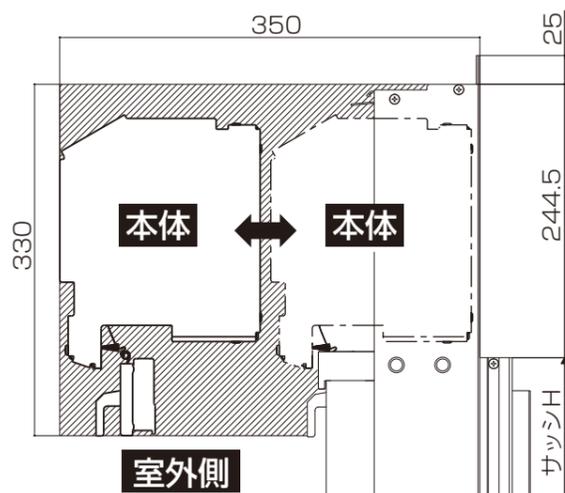
■取付け上のお願

- 本製品のうち、サッシ枠の組立ておよび取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシの組立て・取付けは、シャッター(電動)の施工範囲には含まれません。
- 天板・化粧まぐさは水平に取付け、シャッター本体取付け部の開口の寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。(右図参照)
寸法が正確に出ていないとシャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
- 枠の水平・垂直を正確に出してください。特に水切りの上下のソリがないようにしてください。シャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などがやり直すおそれがあります。
- モルタル施工の際、水切りにモルタルが付着しないよう指導してください。
- モルタルはくり剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
- 水切りが変形しないよう、躯体取付けねじは必ず固定してください。
- 水切り先端部にのったり、重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。
- シャッター部分の組立て・取付けについては、シャッター本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

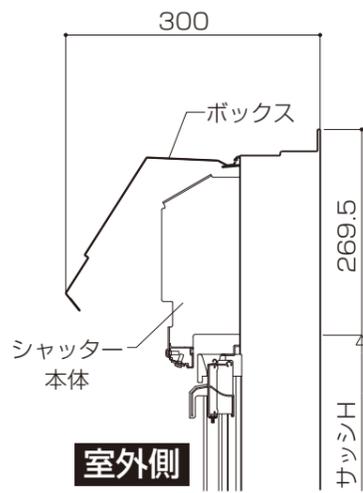


●シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。

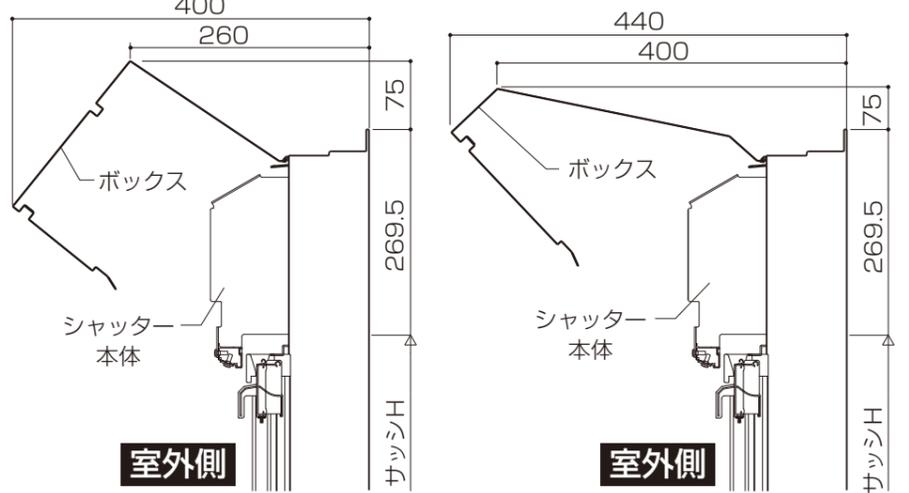
■S型ボックス



■D型ボックス



■H型ボックス



■使用部品・ねじ一覧表

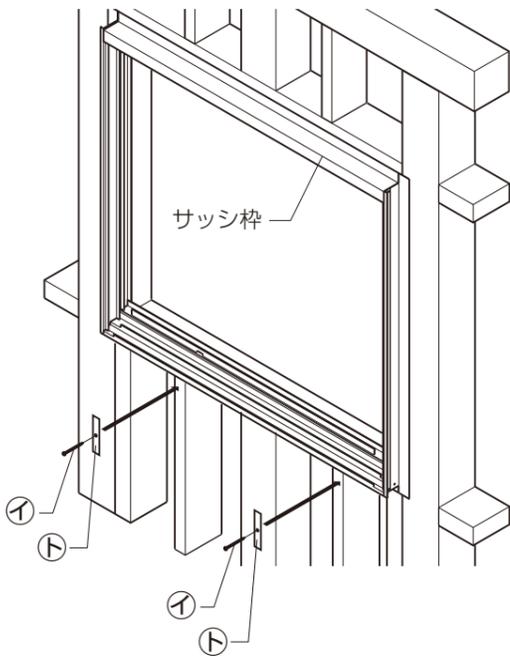
記号	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫
名称	皿タッピンねじ φ4×35	トラスタッピンねじφ4×35 (ゴムワッシャー付き)	バインドタッピンねじ φ4×30	背板	皿小ねじ M4×5	防水テープ
姿図						
使用場所	水切り、外枠、化粧まぐさ、天板	水切り	外枠、化粧まぐさ	同梱	背板	
袋表示	枠取付け用		枠組立て用		背板取付け部品セット	

記号	㊬	㊭	㊮	㊯
名称	位置決め台紙	皿タッピンねじ φ4×35	下枠ブラケット	トラスタッピンねじ φ4×35
姿図				
使用場所	躯体		水切り	下枠ブラケット
袋表示	位置決め用		下枠ブラケットセット	

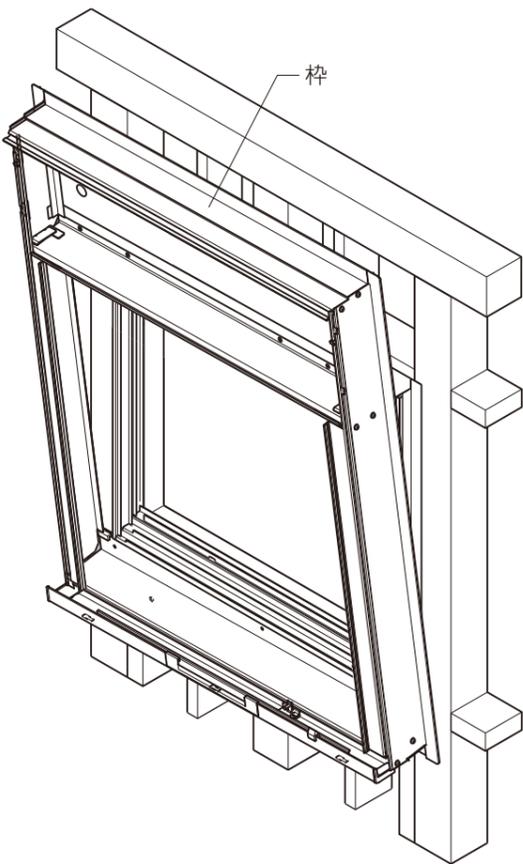
記号	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵
名称	トラスタッピンねじ φ4×8	ナベテクスねじ φ4×13	下枠アタッチメント 端部ピース	トラス小ねじ φ4×10	バインド小ねじ M4×12	ナベワンウェイねじ φ4×8
姿図						
使用場所	ガイドレールアタッチメント ガイドレール	下枠アタッチメント		下枠アタッチメント端部ピース	ガイドレール	下枠アタッチメント
袋表示	下枠アタッチメント取付け用・ガイドレール取付け用					

■取付け順序(四方先組みの場合)

1 位置決め



2 枠の仮止め



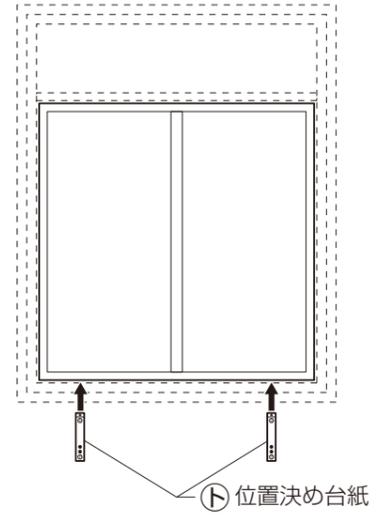
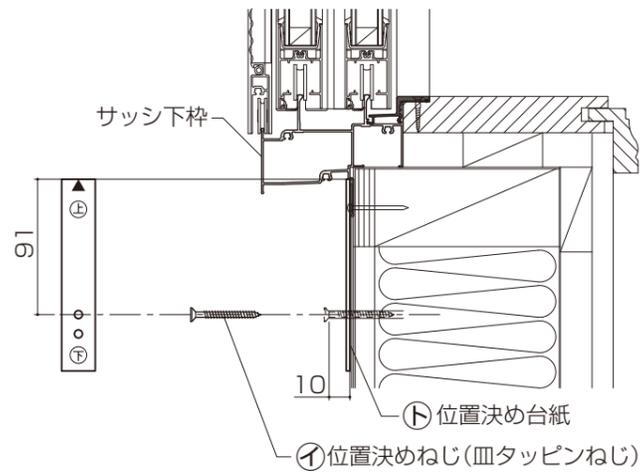
※入隅の場合は四方先組みして取付けを行ってください。

1 位置決め

①サッシの下枠の下端に①位置決め台紙の直付用の穴の位置に下穴をけがきます。
(左右2カ所)

※下穴は必ず、胴縁がある位置にしてください。

②けがきに合わせて、①位置決めねじ(皿タッピンねじ)を首下10mm残してねじを締めます。



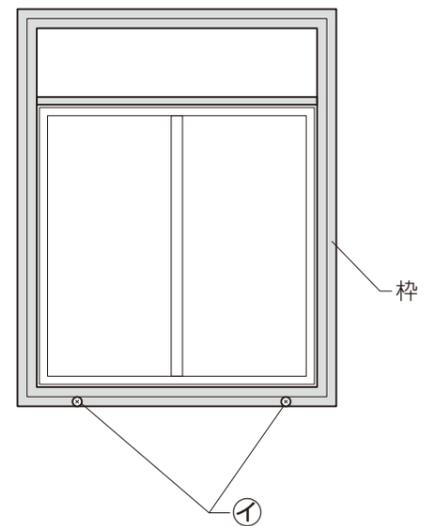
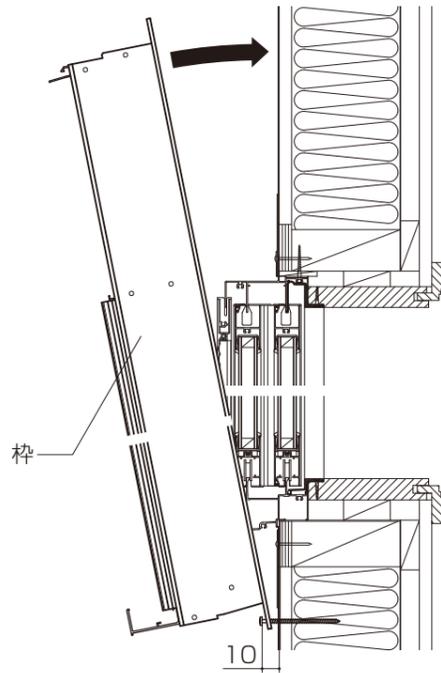
2 枠の仮止め

①枠の水切りフィンを①位置決めねじにのせ、枠を躯体に起こします。

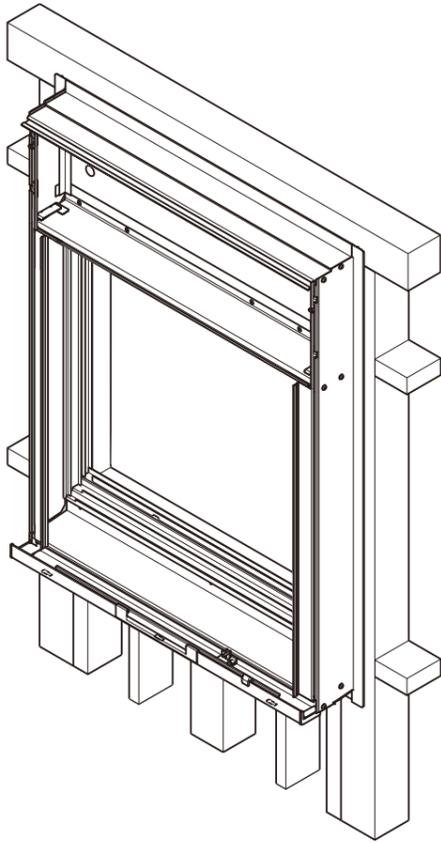
②天板、まぐさの水平を水準器で確認し、左右の出寸法を均等になるようにします。

③外枠の垂直を水準器で確認して一番上の穴(左右)の位置にねじを締込みます。

④①位置決めねじ(皿タッピンねじ)を抜きます。



3 枠の固定

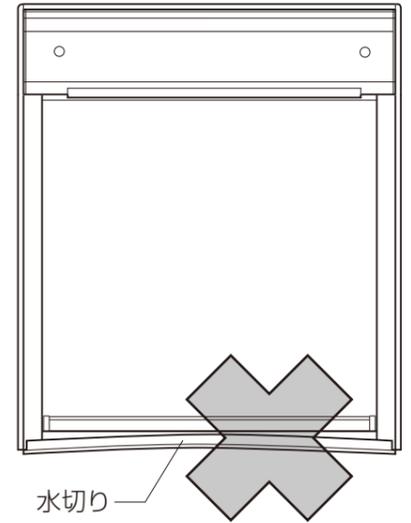
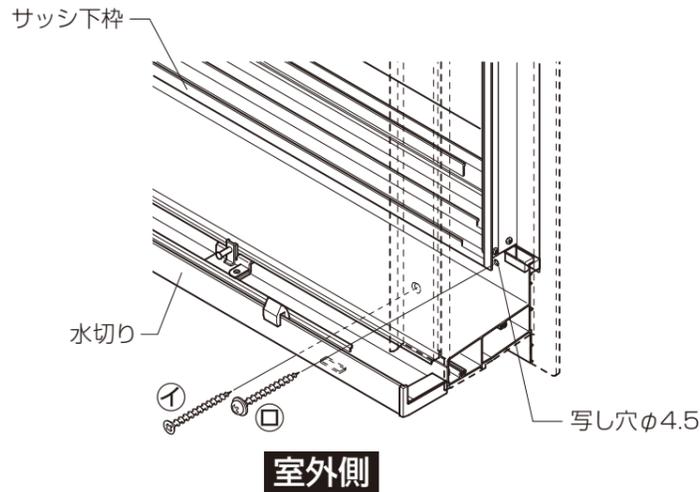


3 枠の固定

①水切り上部のフィンにあってはいる釘穴の位置にドリルでφ4.5の写し穴あけ、㊸トラスタップピンねじ(ゴムワッシャー付き)で固定します。

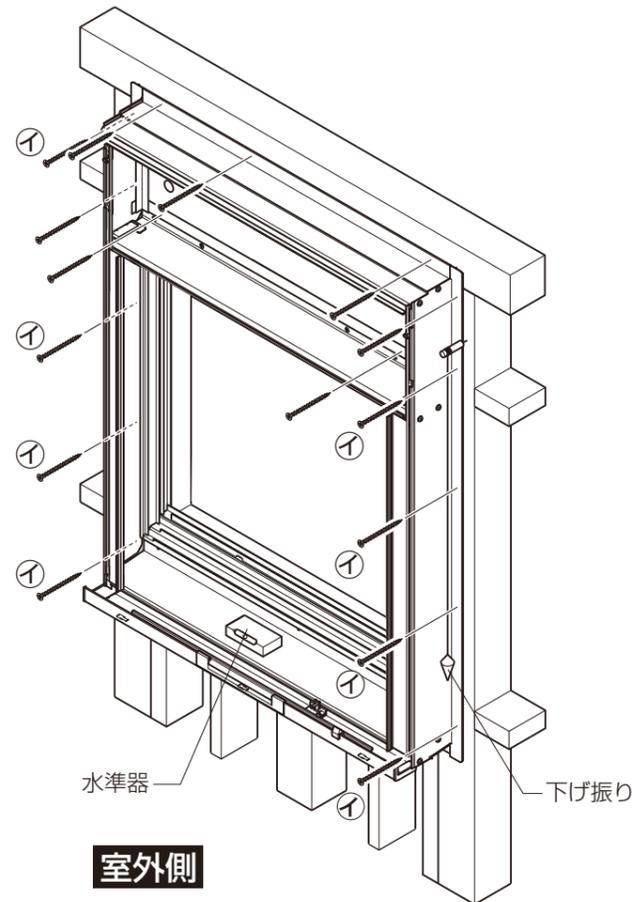
②水切り下部のフィンにあってはいる躯体取付け穴に合わせて、㊹皿タップピンねじで固定します。

※水切り固定の際は水準器などで水平を確認し、上下にソリがある場合は、かい物などで調整してください。シャッター動作不良の原因になります。

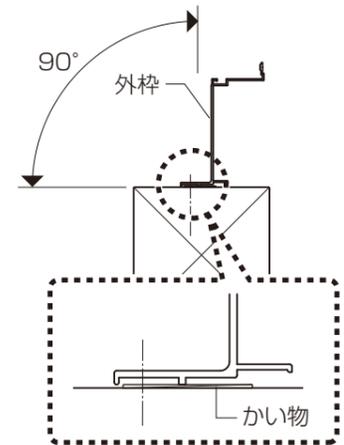


③固定していない外枠、化粧まぐさ、天板を㊹皿タップピンねじで固定します。

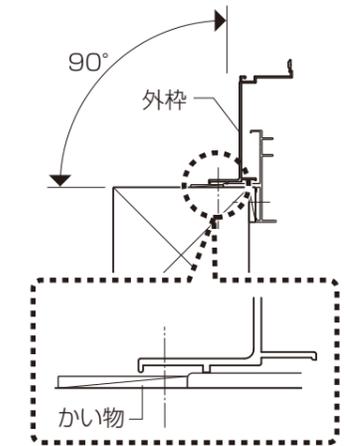
※外枠、化粧まぐさ、天板の固定の際は水準器などで水平を確認し、上下にソリがある場合は、かい物などで調整してください。シャッター動作不良の原因になります。



〈直付けの場合〉

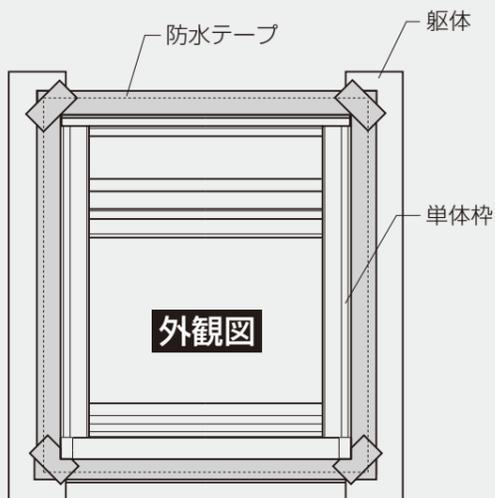


〈サッシのフィンが厚い場合〉



▲ 注意

●本製品取付け後、単体枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部および単体枠の角部が完全にかくれるように防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

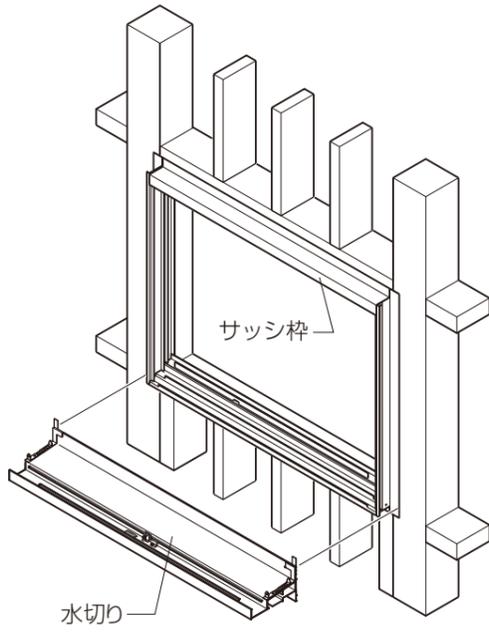


外觀図

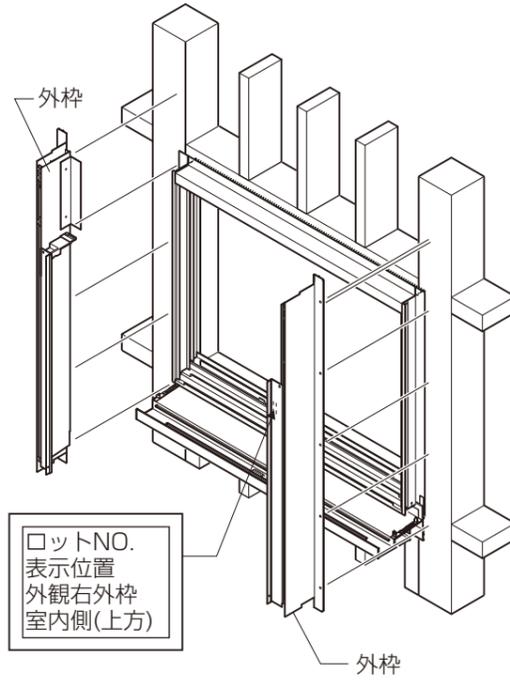
※以降は取付け手順(部材現場付けの場合)7から参照してください

■取付け順序(部材現場付けの場合)

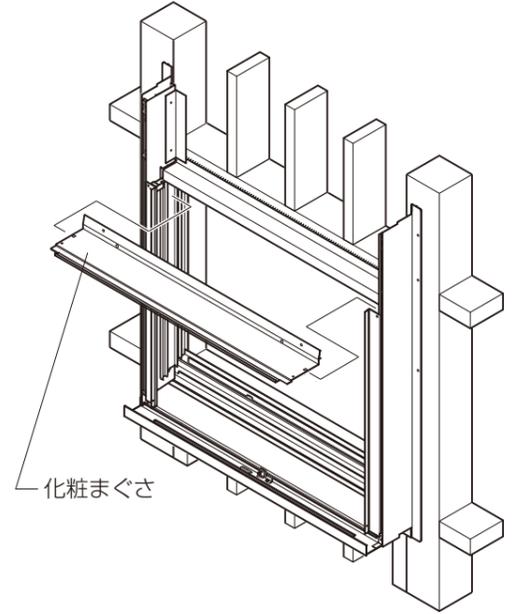
1 水切りの取付け



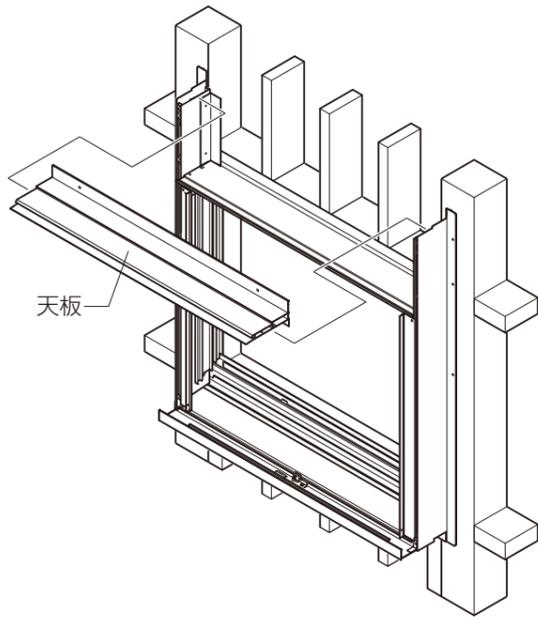
2 外枠の取付け



3 化粧まぐさの取付け



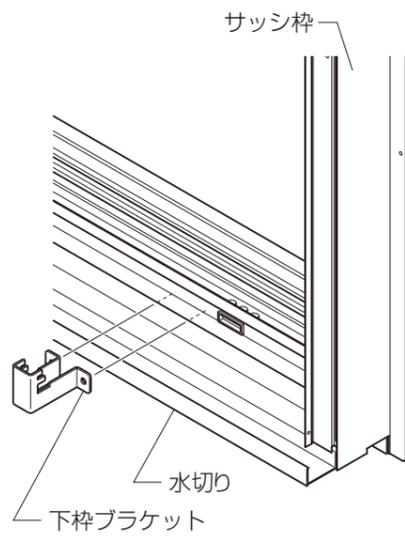
4 天板の取付け



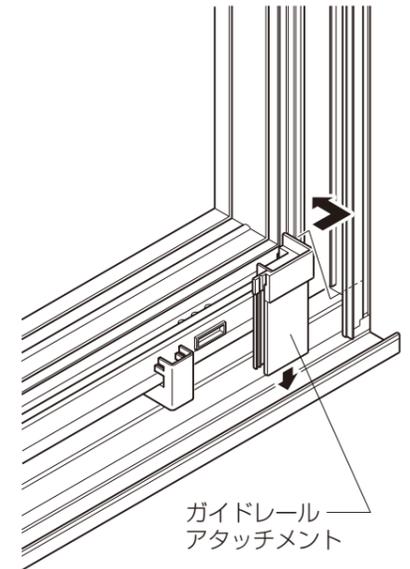
5 外枠・化粧まぐさの固定

6 背板の取付け

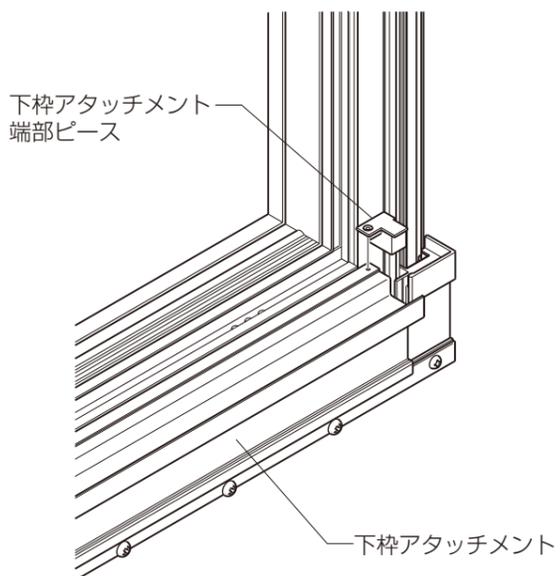
7 下枠ブラケットの取付け



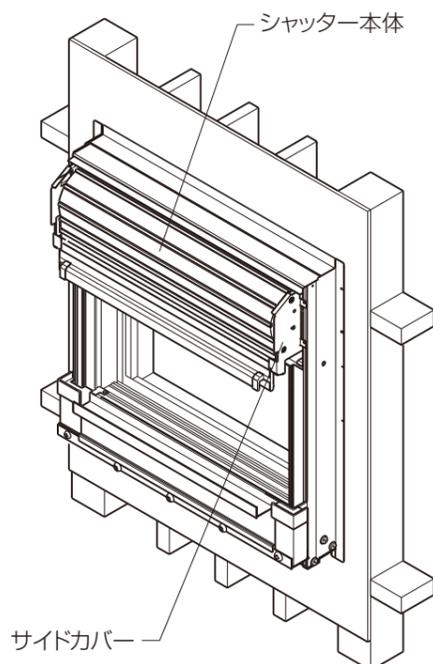
8 ガイドレールアタッチメントの取付け



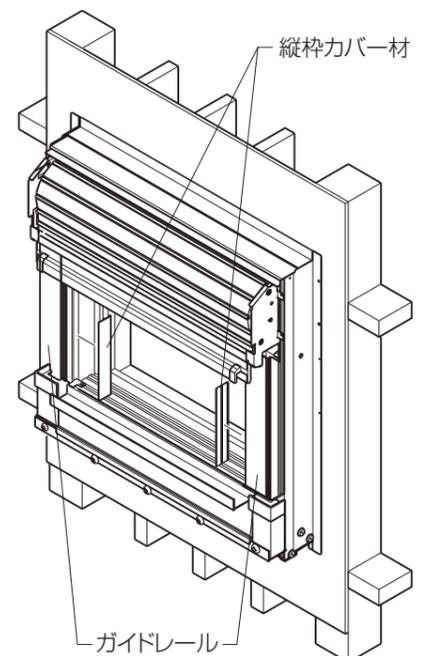
9 下枠アタッチメントの取付け



10 シャッター本体の取付け

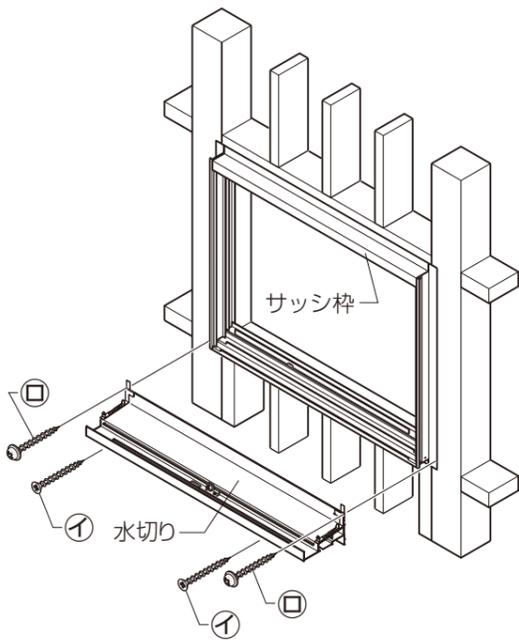


11 ガイドレール・縦枠カバー材の取付け



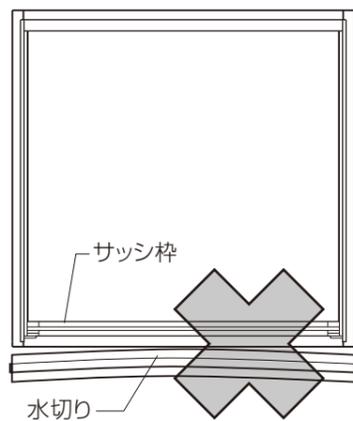
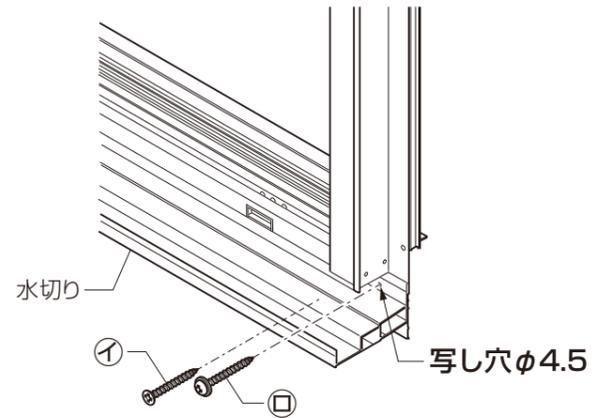
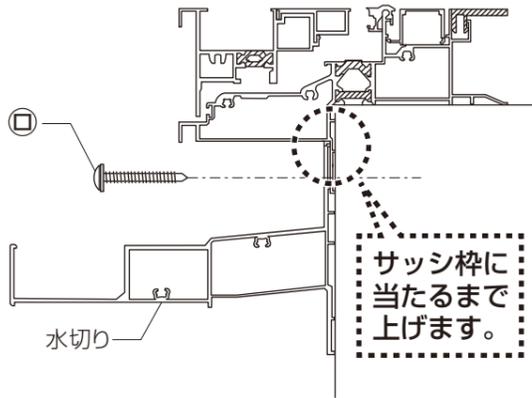
■取付け順序(部材現場付けの場合)

1 水切りの取付け



1 水切りの取付け

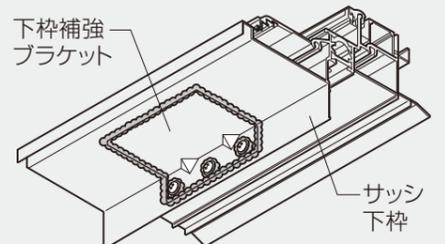
- ※開口部に取付けられているワイドウィンサッシの水平と垂直を確認してから下記の作業を始めてください。
- ①サッシ下枠フィンの外側から水切りをかぶせ、サッシ枠からの左右の出寸法を均等にします。
 - ②水切りをサッシ枠に当たるまで上げ、水平にします。
 - ③水切り上部のフィンにあいている釘穴の位置にドリルでφ4.5の写し穴をあけ、㊸トラスタッピンねじ(ゴムワッシャー付)で固定します。
 - ④水切り下部のフィンにあいている躯体取付け穴に合わせて、㊹皿タッピンねじで固定します。
- ※水切り固定の際は水準器などで水平を確認し、上下にソリのある場合は、かい物などで調整してください。シャッター作動不良の原因になります。



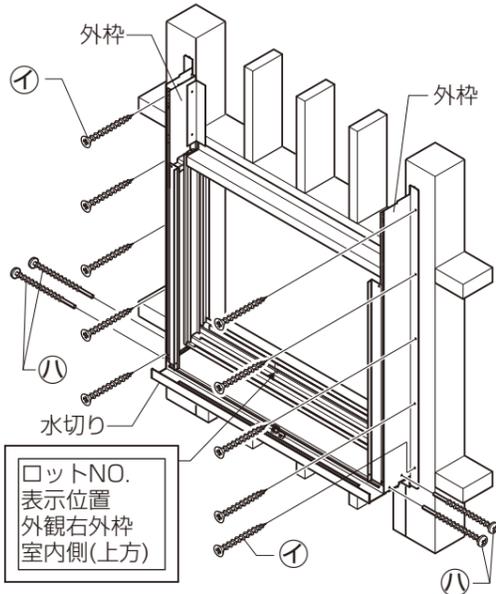
▲ 注意

- 下枠補強ブラケットを取外し後、躯体のねじ穴にコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

- ※サッシ下枠に下枠補強ブラケットが付いている場合は、下枠補強ブラケットを取外してください。

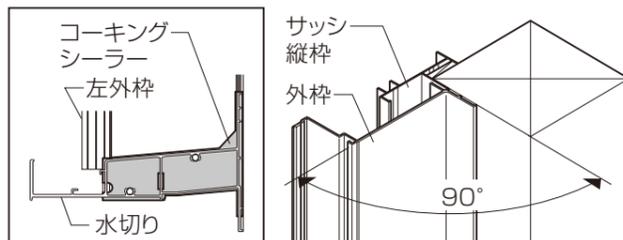


2 外枠の取付け

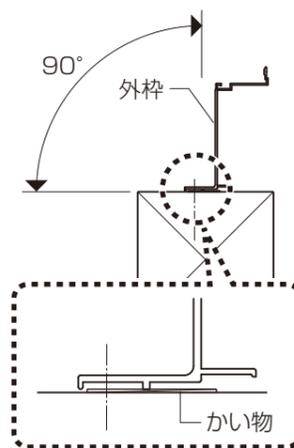


2 外枠の取付け

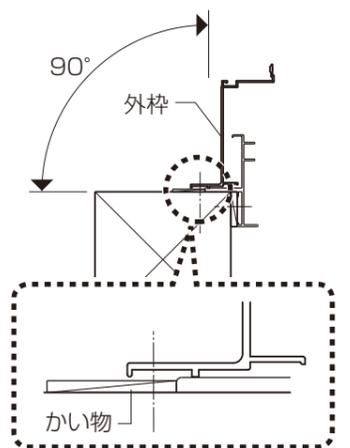
- ①左右の外枠を水切りに㊸バインドタッピンねじでねじ止めします。
 - ②枠の垂直を出し、躯体と直角になるようにどちらか一方の枠を㊹皿タッピンねじで固定します。もう一方は仮止めしておきます。
- ※枠の固定は下げ振りなどで垂直を確認し、躯体と直角になるようかい物などで調整してください。シャッター作動不良の原因になります。



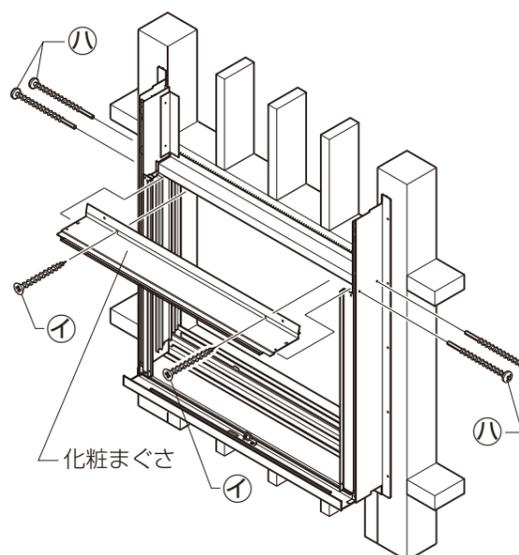
〈直付けの場合〉



〈サッシのフィンが厚い場合〉

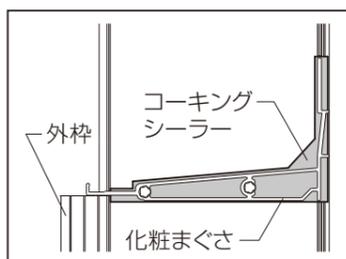


3 化粧まぐさの取付け

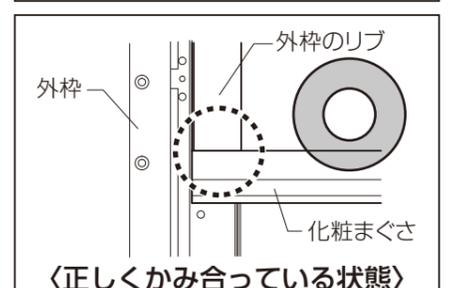
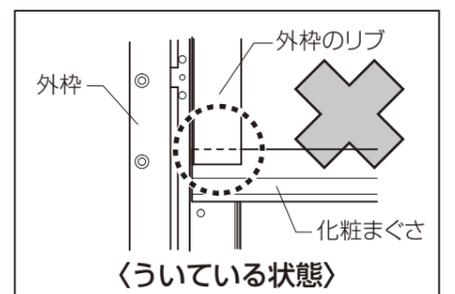
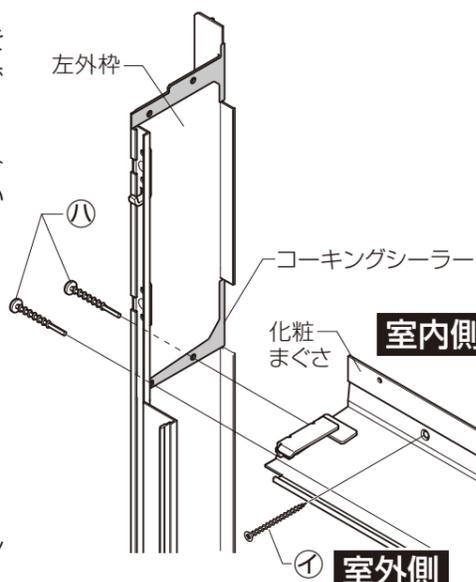


3 化粧まぐさの取付け

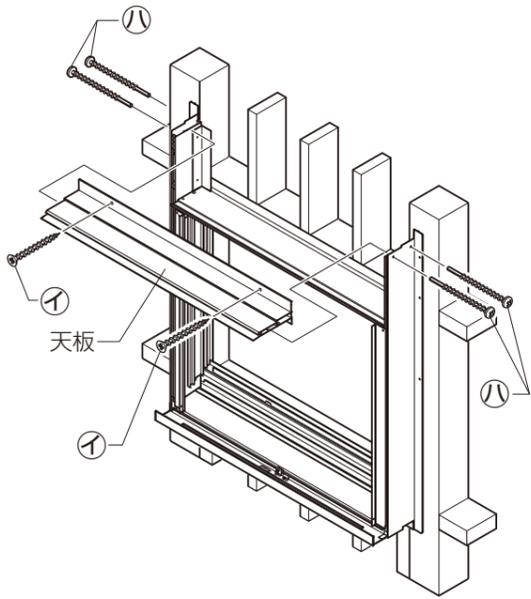
- ①左右の外枠と化粧まぐさを㊸バインドタッピンねじで固定します。
- ※躯体側がうかないよう、外枠のリブと化粧まぐさをかみ合わせてください。



- ②化粧まぐさを㊹皿タッピンねじで躯体に固定します。



4 天板の取付け

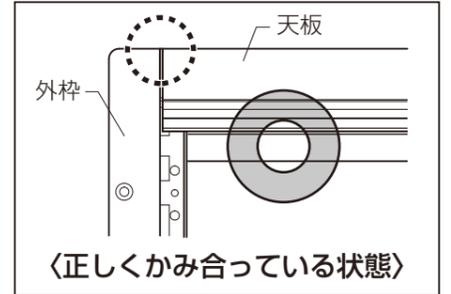
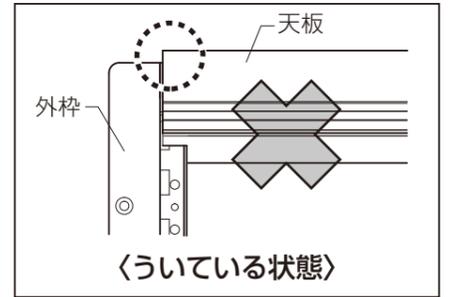
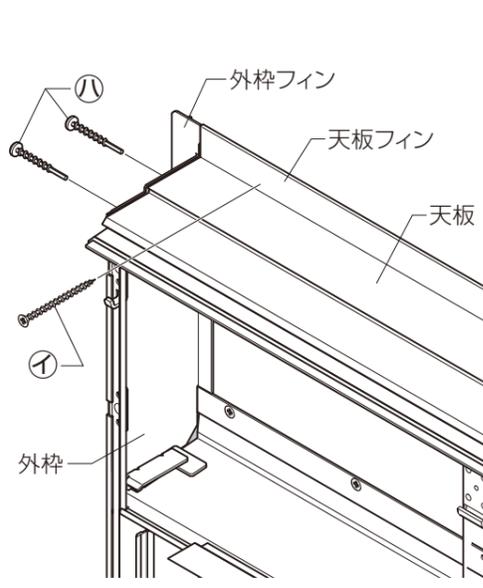
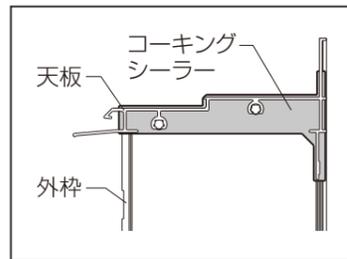


4 天板の取付け

①左右の外枠と天板を①バインドタッピンねじで固定します。

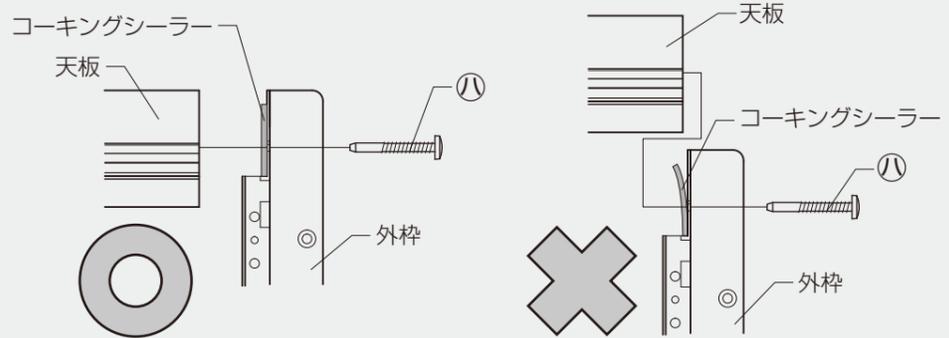
※躯体側がうかないよう、外枠と天板のフィンの高さを合わせてください。

②天板を②皿タッピンねじで躯体に固定します。



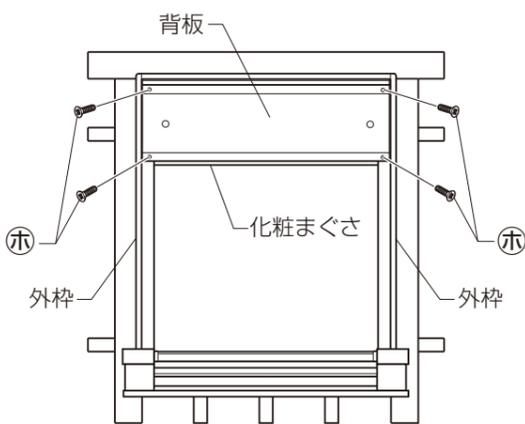
▲ 注意

- 外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさ・水切りのまわりにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。
- ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。
- 外枠に天板を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまい漏水の原因になるおそれがあります。



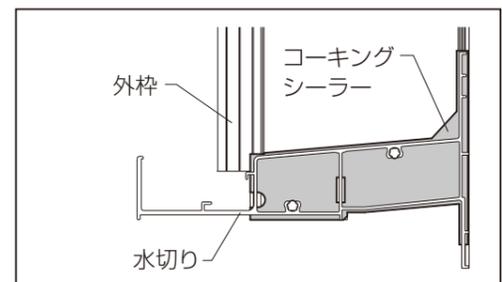
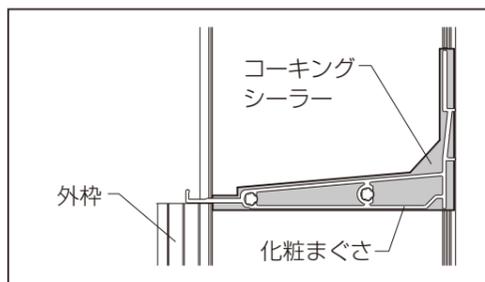
5 外枠・化粧まぐさの固定

6 背板の取付け



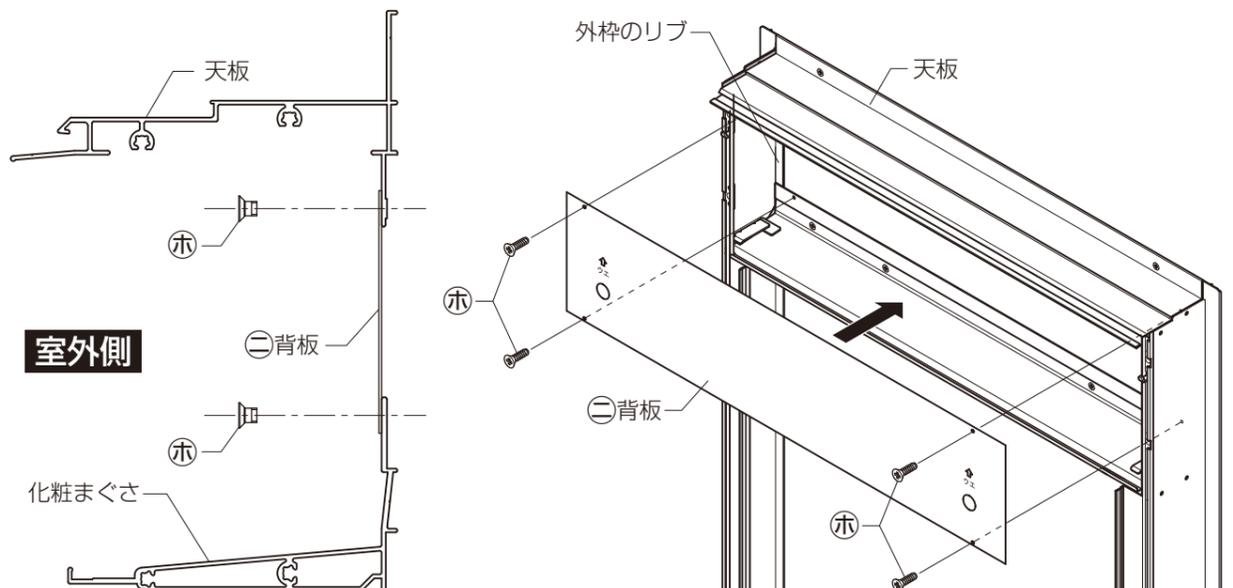
5 外枠・化粧まぐさの固定

●固定していない外枠・化粧まぐさ・天板を②皿タッピンねじで固定します。

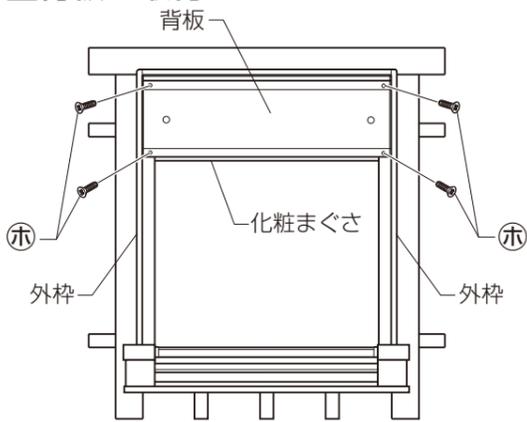


6 背板の取付け (部材現場付けの場合のみ)

①⊖背板の「ウエ」の表示が室外側になるように↑の向きを上にして、天板・化粧まぐさの下穴に背板の穴を合わせて⓪皿小ねじで取付けてください。

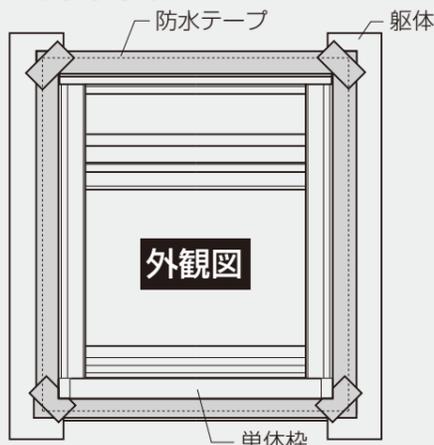


6 背板の取付け



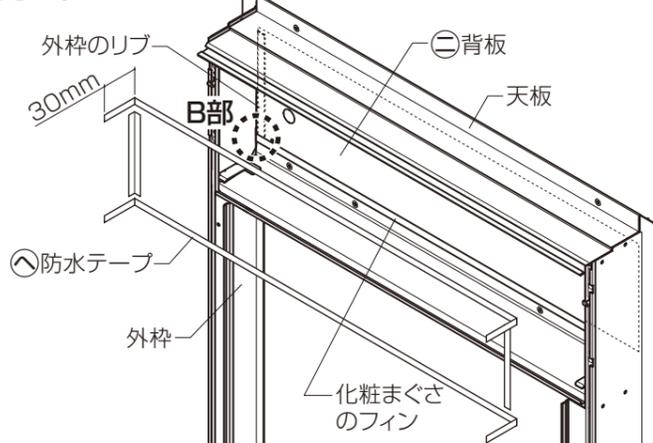
▲ 注意

- 本製品取付け後、単体枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部および単体枠の角部が完全にかくれるように防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。



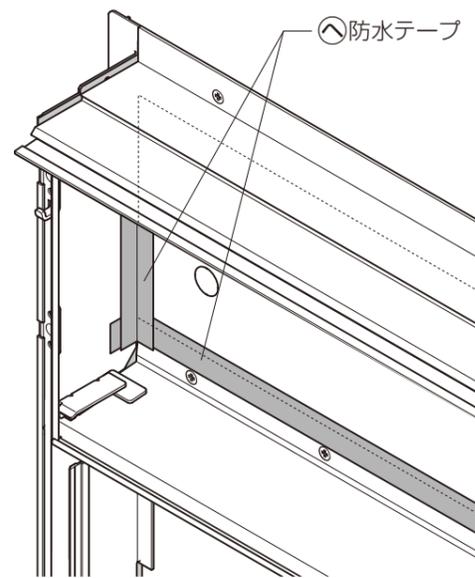
②化粧まぐさのフィン、外枠のリブ、天板のフィンに○防水テープを張付けてください。

※化粧まぐさ天板に張る○防水テープは、両端が外枠のリブをかぶせるようにコーナー部で30mm折曲げて張付けてください。



③○防水テープを圧着します。

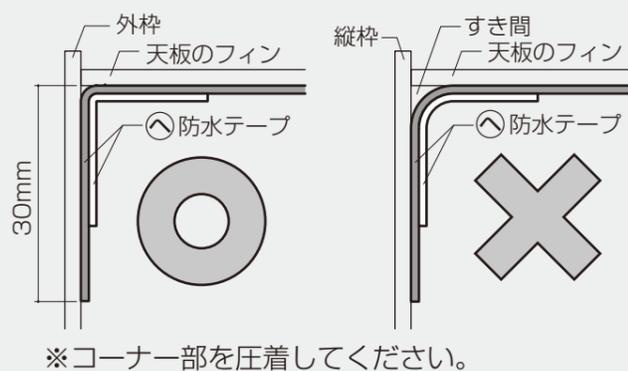
■ B部詳細図



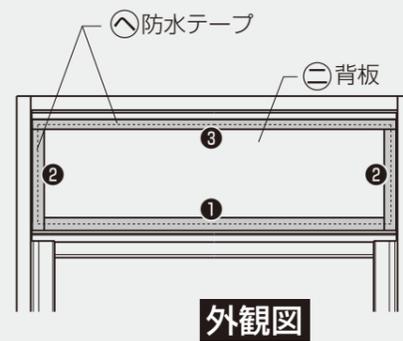
▲ 注意

- 防水テープは、下記順序で背板の四周およびコーナー部に必ず圧着してください。

①化粧まぐさ→②外枠に折曲げて→③天板
漏水の原因になるおそれがあります。



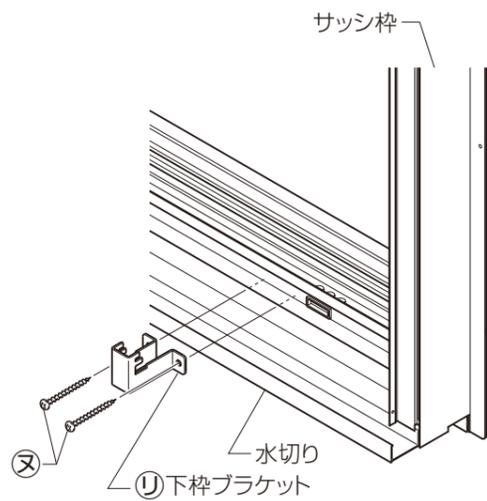
※コーナー部を圧着してください。



④張付け後、○背板、○防水テープに浮きがないか確認してください。

■ 取付け順序(部材現場付 四方先組みの場合)

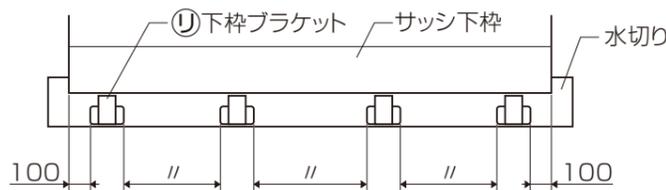
7 下枠ブラケットの取付け



7 下枠ブラケットの取付け

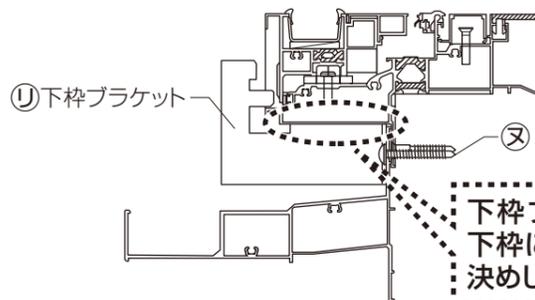
- ①下枠ブラケットの取付け位置を確認します。(取付けピッチ表参照)
- ②下枠ブラケットの上面をサッシ下枠に突き当てながら、下枠ブラケットの穴の位置にドリルでφ4.5の写し穴をあけます。
- ③②であけた躯体の下穴にコーキング材を充てんします。
- ④下枠ブラケットをⓧトラスタッピンねじで固定します。その後、ねじまわりにコーキング材を充てんします。
※後工程で取付けする下枠アタッチメントのガタツキを防止するため、ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。
※水切りのV溝とブラケットの穴位置は合う設定ですが、施工のバラツキにより合わない場合があります。その場合は、サッシ下枠に突き当てた状態位置で固定してください。

■ 取付けピッチ表

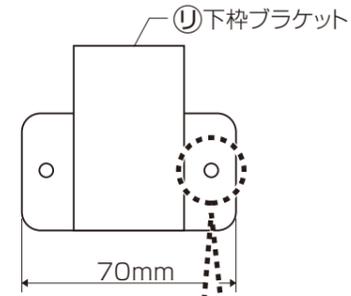


両端部：サッシ下枠100mmの位置
中間部：均等に振り分けする

(注)ブラケット数はサイズによって違います
W159...4個、W250...6個



下枠ブラケットをサッシ下枠に突き当てて、位置決めします。

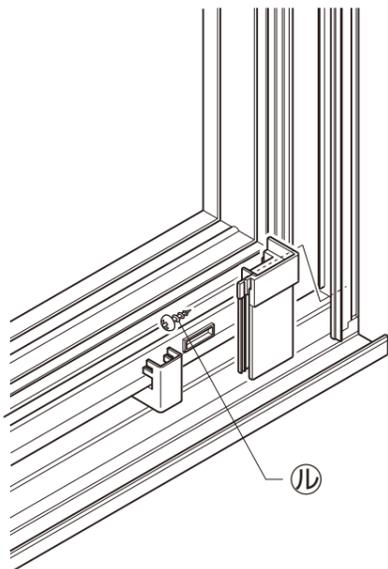


ねじまわりにコーキング材を充てんします。

▲ 注意

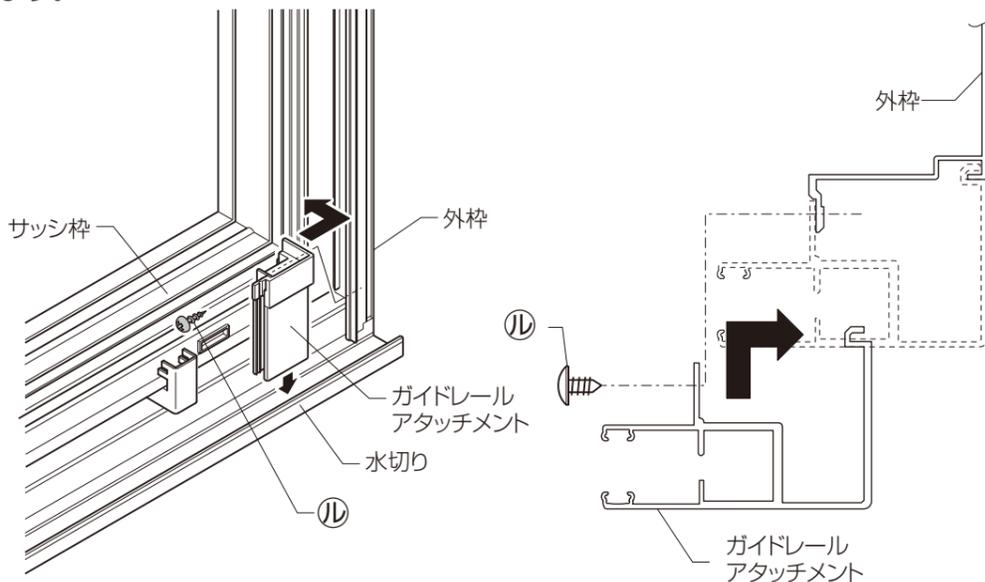
- 躯体の下穴にコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

8 ガイドレールアタッチメントの取付け

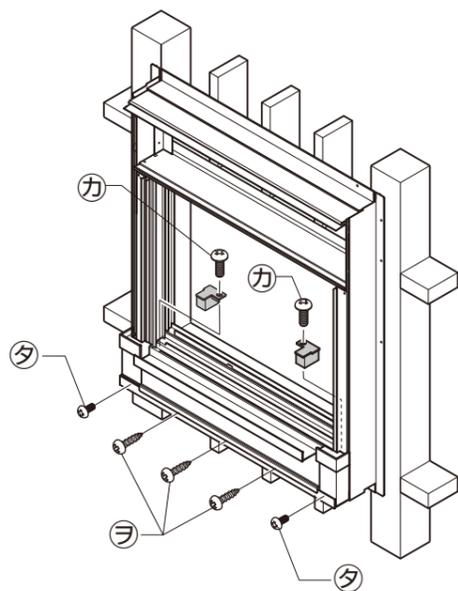


8 ガイドレールアタッチメントの取付け

●ガイドレールアタッチメントを水切りの上に置いた状態で、左右の外枠にはめ込み、⑩トラスタッピンねじで固定します。



9 下枠アタッチメント・下枠端部ピースの取付け



9 下枠アタッチメント・下枠端部ピースの取付け

①下枠アタッチメントを下枠ブラケットに上から引っ掛け、ガイドレールアタッチメントとのクリアランスを左右で均等にします。

※下枠アタッチメントの下部のフィンが、水切りより室外側にあることを確認してください。

②下枠アタッチメントの両端と外枠との隙間に、下枠端部ピースを落とし込んで⑪トラス小ねじで固定します。

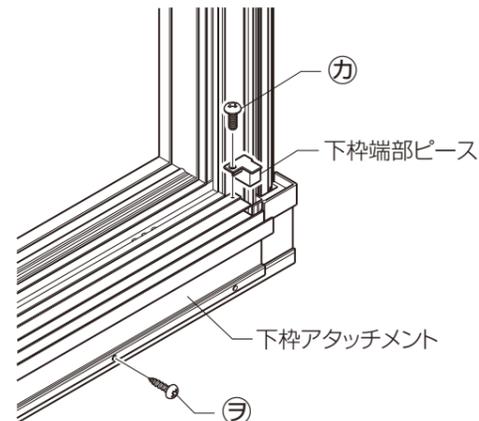
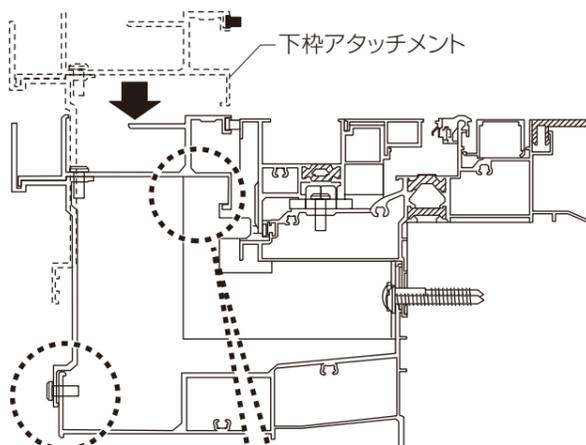
※下枠端部ピースは、ガイドレール取付け後には落とし込めません。

必ず、ガイドレールを取付けする前に固定してください。

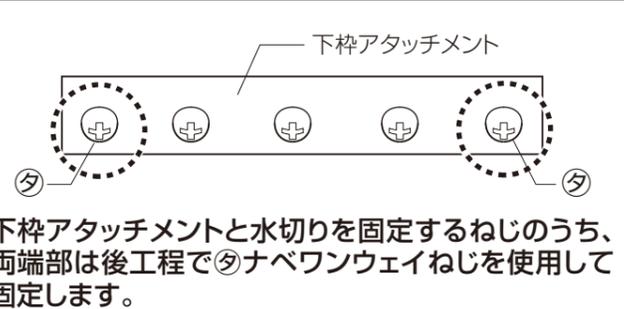
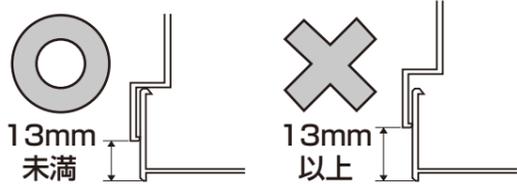
③下枠アタッチメントと水切りを⑫ナベテクスねじで固定します。

※下枠アタッチメントを上から押さえながら、ねじ止めしてください。

※両端部のねじは、後工程で固定します。(⑬ナベワンウェイねじを使用)



下枠アタッチメントを下枠ブラケットに上から引っ掛けます。



下枠アタッチメントと水切りを固定するねじのうち、両端部は後工程で⑬ナベワンウェイねじを使用して固定します。

④下枠アタッチメントの取付け状況を確認します。

A部：サッシ下枠と下枠アタッチメントの段差を確認します。許容範囲は、0～1.5mmです。

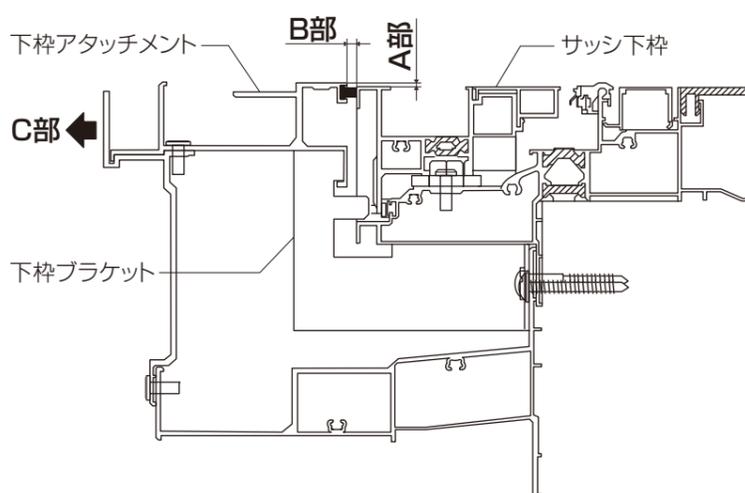
B部：サッシ下枠と下枠アタッチメントのクリアランスを確認します。FIX障子側と網戸レール側で寸法は違います。

• FIX障子側 …… 3.5mm
[許容範囲 3.5～4.5mm]

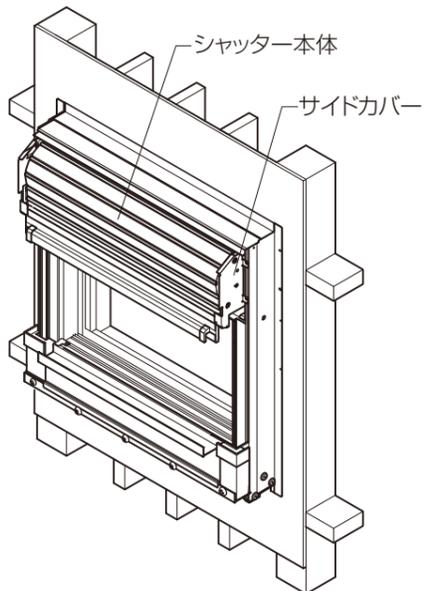
• 網戸レール側 …… 6.0mm
[許容範囲 6.0～7.0mm]

C部：下枠アタッチメントの上側を軽く引っ張って、下枠アタッチメントが下枠ブラケットに引っ掛かっていることを確認してください。

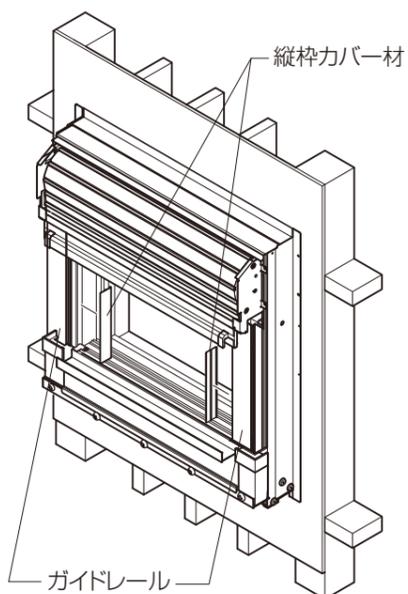
※確認結果がおかしい場合には、下枠ブラケットの取付け・下枠アタッチメントの取付け状態を再確認してください。



10 シャッター本体の取付け



11 ガイドレール・縦枠カバー材の取付け

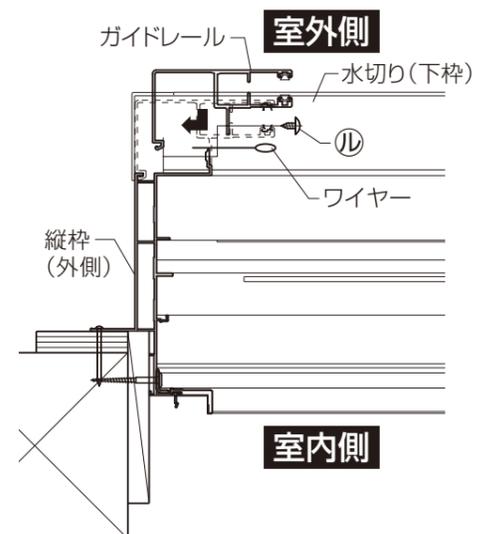
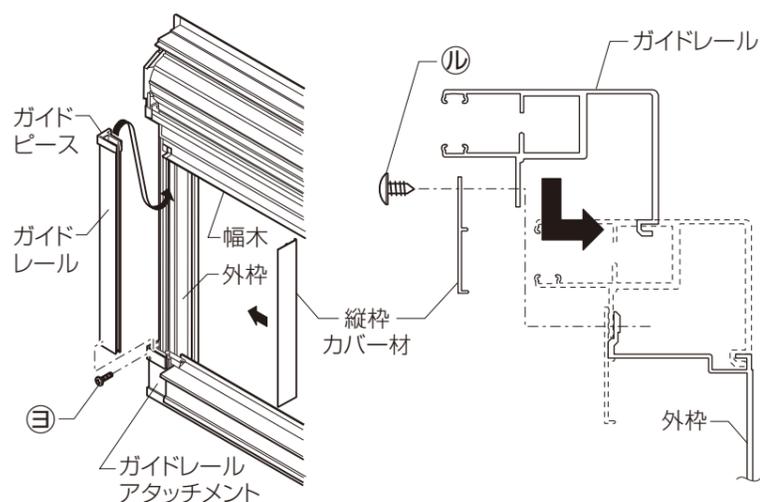


10 シャッター本体の取付け

※同梱の別紙『イタリア(リモコン電動)本体／ガイドレール〔単窓〕』MAL-556の取付け説明書1～2を参照してください。

11 ガイドレール・縦枠カバー材の取付け

- ①幅木を引下げ、ガイドレールの上端(ガイドピース側)に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入します。
- ②ガイドレールをスライドさせ、外枠とガイドレールアタッチメントにはめ込み、③バインド小ねじでガイドレールアタッチメントに固定します。
※クラッチのワイヤーをはさまないようにしてください。
- ③縦枠カバー材とガイドレールのねじ穴を合わせ、㊹トラスタッピンねじで外枠に固定します。
※縦枠カバー材は薄い形材です。取扱い時に変形させないようにしてください。
※ガイドレールの一番下側の穴は捨て穴で、縦枠カバー材を取付けた後には、見えなくなります。
※取付け完了後、開閉動作チェックをしてください。引っ掛かりなどの支障がある場合は、【スラットの横ズレの確認】を行ってください。



●お願い●
※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバなどは使用しないで手回しドライバーを使用してください。

●お願い●
※クラッチのワイヤーをガイドレールの外側に出してガイドレールをはめ込んでください。

※以降の手順は10同様に、同梱の別紙『イタリア(リモコン電動)本体／ガイドレール〔単窓〕』MAL-556の取付け説明書4～を参照してください。